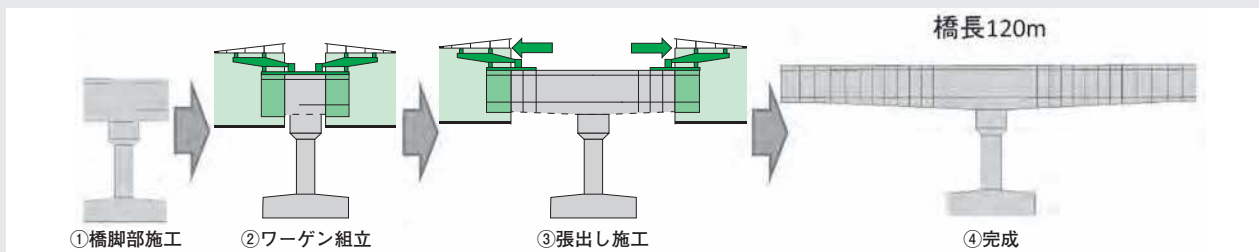


国道5号に「やじるべえ」出現!～空中で橋を架ける張出仮設工法～

市街地の目に見えるところで工事が進んできており、橋脚や大きなクレーン車など目立つようになりました。また、ふれあい大橋の上空にも桁がかかり、町並みの変化も感じられるようになりました。

その中で今回は国道5号交差部の工事内容についてご紹介します。一般的に道路や河川の上で採用する工法で、移動式作業車（ワーゲン：ミドリ色部分）を使用し、橋脚から「やじるべえ」のようにバランスをとりながら、左右同時に1ブロックあたり2～3mずつ橋桁を張り出していきます。

国道5号は交通量が多いことから、工事期間中は安全を確保するため車両の交通規制を行い工事を進めますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



桁・・・列車が走行するための橋の構造部分

橋 桁・・・橋脚の間に渡される床版を下から支える主要な構造部材

〈有料広告〉



司法書士法人 やまびこ事務所 長万部事務所

●登記 ●相続・遺言 ●後見 ●許認可 ●債務整理など

お気軽にご相談ください



01377-6-7444

司法書士・行政書士 青沼千鶴

長万部町字長万部15番地61